

# JCD KANSAI

Japanese Society of Commercial Space Designers



社団法人 日本商環境設計家協会 関西支部 情報委員会

〒550 大阪市西区南堀江1-26 南堀江スカイハイ710号

☎ 06-543-0680

昭和61年 8月

第 9 号

# 目 次

- 関西支部 第3回談話室 & ビヤーパーティーご報告 ..... 1 ~ 3
- 自然と融合 — カナダ EXPO '86 ..... 太田眞昭 4 ~ 5
- ウェスト・エドモントン・モール ..... 蔭山利夫 ..... 6
- ビデオ・ワーク ..... 老田徳廣 ..... 7
- クロス・ポイント ..... 吉尾浩次 ..... 8
- エスカイヤ ..... 亀井克二 ..... 9
- BRIGADON ..... 藤谷明正 ..... 10
- JCD 関西 ..... A B C 商会 ..... 11
- JCD 関西 ..... 木下家具 ..... 12
- JCD メッセージ ..... 13

## 広告掲載

- 松下電気株式会社 ..... 裏表紙
- マックス電機株式会社 ..... 表紙裏
- 株式会社 遠藤照明 ..... 7
- 株式会社 A B C 商会 ..... 11
- 株式会社 キノシタ家具 ..... 12
- 小泉産業株式会社 ..... 13

**MAX ELECTRIC CO., LTD.**  
PROFESSIONAL LIGHTING FIXTURES

本社ショールーム

**人と光が集う場。**  
クリエイターの方々の感性を刺激する新しい商空間のあり方を提案するライティング・コミュニケーション・スペース。様々な情報交換の場として、お気軽にお立ち寄りください。

照明器具の専門メーカー  
**マックス電機株式会社**

本 社	大阪府大阪市東区東野田 2-18-8	TEL. (06) 267-8188	FAX (06) 267-2888
東 京 支 店	東京都目黒区中目黒 1-6-20	TEL. (03) 770-2711	FAX (03) 770-0845
大 阪 支 店	大阪府大阪市東区東野田 2-18-8	TEL. (06) 267-8188	FAX (06) 267-2888
京 都 支 店	京都府京都市東山区東山 7-1-10	TEL. (075) 256-8888	FAX (075) 256-8888
福 岡 支 店	福岡県福岡市東区 1-11-15	TEL. (092) 541-7624	FAX (092) 541-7624

## 関西支部

### 第三回談話室&ビヤパーティーご報告

8月2日出屋間より水銀柱が36℃をうかどう熱暑の中第3回談話室&ビヤパーティーが開催されました。

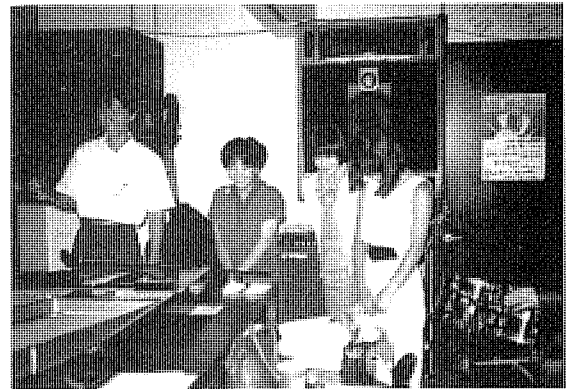
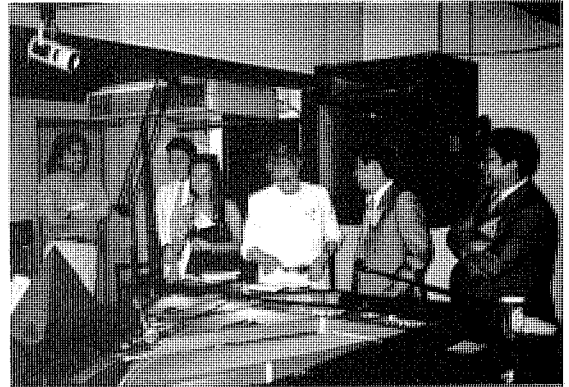
参加者は会員、賛助会員、及び関係者(特にレディーの参加多数)約70名で、野井会員の作品である、ジャズライブハウス

“LEFT ALONE”(芦屋市)に参集し、暑さにまけない熱気のこもった状況で会は進行了ました。

西協理事の開会の挨拶、要委員長(組織)の本会のいきさつの説明、談話室講師、吉川先生(ハワイ大学教授)のプロフィール及び、テーマ「創造への発信」について紹介のあと、吉川先生の感動的な話や、それに対する活発な応答が約2時間にわたって行なわれました。(内容後述)

談話室講演後、里吉委員の司会から、柴田委員に司会のバトンタッチを行ない、ユーモアあふれる司会でビヤパーティーが進行しました。ビール早呑競争や、賞品・景品のお渡しイベント(賛助会員様よりご協力)等、誠に楽しいパーティーがつづき、予定の時間も約30分オーバーする状況でした。

ちなみに早呑競争の優賞は第一位ブドウ組でした。



## 談話室講演

### “創造への発信” フォーラム形式で

講師：ハワイ大学教授 吉川 宗男氏

プロフィール

1938年 東京都に生まれる

現在、アメリカ市民

30年程前にアメリカへ留学、リンフィールド大学卒業後、ハワイ大学大学院にて日米比較文化論を専攻、アメリカ研究学科にて博士号獲得、現在ハワイ大学教授。

1982年度、最優秀ティーチング賞受賞。専門分野は国際教育哲学、国際コミュニケーション論、外国語教育理論。

なお日米経営科学研究所の講師、多国籍企業として知られている。世界的大会社、エッソ石油会社やプロクター・ギャンブル社そしてカリフォルニアの富士通マイクロエレクトロニクス社等でのクロスカルチャラルビジネスコミュニケーション講師としても活躍中、著書としてインターカルチャラルビジネスコミュニケーション、外国語教育比較文化論などの分野において多数ある。

#### 吉川教授（以降氏名のみ）

日本に帰り、ハワイに帰り、オレゴンに帰ると云う様な生活で、どこへ帰っても「帰って来た」と云う感じがします。しかし一方で5年間も日本をはなれて、日本へ帰って来ると日本語がたどたどしくなります。そんな事から文化について考えて見ると、……

今、文化の定義は450ぐらいあると云われています。

私は文化「囚や、牢獄」の様なものに思えます。それは□の枠の中に人がおり、この□の枠が一つの文化の思考の枠で、その枠の中で人々はそれにとらわれ生きています。すなわち日本人は日本文化の枠で考え、その枠で世界を見ようとします。したがって自分の文化の範囲の枠でしか見ていない、ある意味では枠が邪魔をし、異文化とのコミュニケーションがむづかしくなっています。

#### 要

「創造への発信」と云う考えで、我々商業空間づくりを通じ何か、文化的な発信をし、コミュニケーションをしようとしています、そんな観点で何かありますか。

#### 吉川

日本人は絵的イメージを中心に考え、自分の

手のとどく範囲で論じている。

（例 レストランの見本→ 日本的、絵的  
メニュー → 西洋的、抽象的）

西洋は抽象的に論じる。

国際化の中で、情報→知識→知恵の加工の流れの中で我々の身のまわりの情報は多く存在しているが、その評価は「良い」と「悪い」でストップしている事が多い。

知識とは、情報と情報をつなぎ、加工し、役に立てるためのものであるが、日本人の場合には知識が断片的になりやすく、役立てるまでの「知恵」や「応用」にまでつながっていない。情報過多の時代は物（情報）をむすびつける力、統合力が必要でそれをいかにして使うかの「知恵」や「応用」の時代でもある。

日本文化の中では、物事を学ぶ場合、まず型をあたえられ、それを何回もくりかえし学ぶ（まねぶ）そして、新しい自分なりを出して行く、型より入り形に出る。それが「道」である。能や、落語はまさにそれで、別の云い方をすれば、弥生的（秩序のエネルギー）である。

しかし万才は異質なものととの出合があり、視点をかえて笑わせると云う、国際性がある。云わば縄紋的（わき上るエネルギー）である。大阪には物を生み出す力があるが、それをいかに分らせるかが大切、又生み出したもの

を発信して行く「分からせる思想」すなわち自己表現の形をやぶって行う事が必要です。

里吉

先生のアメリカ生活から見て何か気づかれた事はありますか。

吉川

アメリカへ行く途中、行ってから、いろいろと分からない事にぶつかった。

日本人の思考は「恥の文化」であり、自分のまわり、状況を見て、自分の行動、考え方を決める、それは丸の思考である。(盆踊、日の丸) 欧来人は「罪の文化」であり、直線的、ポイント思考を行う。

自分と他との関係、状況の中で「にげない」「ずるくない」行動をとる。

「枠にとらわれない」とは、自分とちがうものにぶつかって、そして、そのカルチャーショックを受け入れ、今までの枠からすれば異端的行動であるが、あえてそれを行う事である。その例としてアメリカへ行った当時の事をお話すると、

第1段階、アー！「わあ!!こんなものがあるのか、カルチャーショック」→新鮮、おどろき

第2段階、アハー？「先生と、生徒が激論し、先生をまかしている」→自由な思考

第3段階、アハハハ「なんだそんな事か、物が見えてくる、相手の枠が見える」→自分の枠が分る

この様に自分の枠が分りそれから飛び出す事が悟りである。(例武蔵、世阿弥)そしてその行動は「積極的に身のまわりに明をともして行く」事でもある。人と人間のちがいが、「間」がないと人間ではない。

「間違い」「間抜け」はその好例で、文化間の枠の間が大切である。

新しい発見には「旅をする」事でもある。異質なものとのお出合(ジャンル、国、文化)そのぶつかり合いを積極的にを行い、カルチャーショックを受け、危機状況になり、その中

より、解決発見がなされて行く。

「ジョークリレーション」のすゝめ、これは万才や道化師の様な活潑な表現や本音の提示を行う事であり、この様な事をやらないと危機におち入る。しかし、一匹オオカミや、アマノジャクでは何の役にも立たない。それはこの危機をよい方向へ向ける努力が必要である。相手の中に入り、物を考えてつくる(相手の立場で)情報をむすびつける力は、枠の外から見られる力が必要。

「反対の一致」が行なわれねばならない。コミュニケーションプロセスは、宗教の悟のプロセスにも通じる事で、アインシュタインや、ガリレオ、福井さんの科学的発見はこれによるものである。

大阪には生々しい発見、発明のバイタリティーがあるが、残念ながらそれを育て、高度化していくプロセスが不足している。

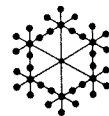
創造への発信は

- ◎雑学の進め
- ◎視点を複眼で
- ◎多元的見方をし
- ◎旅え出て、(万才、被芸人、演歌はかつての日本文化の根源)

まさにそれは ∞ メビウスの輪の様に「ハードとソフト」「個を生かした全体」「トータル発想」「日本と・世界」「自分と他」とくりかえしくりかえして行く中で、発見・発信がなされる。

それが、パラダイムシフトの時代(メガトレンド)である。

岡 修作 記





## 自然と融合—カナダ EXPO '86

(商環境をオーバラップして) 太田真昭

● 約20年前の1967年にモントリオールへ行ってから、カナダの土地は久しぶりですが此の度、バンクーバーで開催のEXPO '86の視察とカナディアンロッキーの旅に出ました。水量豊かなセントローレンス川の岸辺に展開されたモントリオール万国博覧会について、バンクーバーのダウンタウンから数10分で行けるFALS CREEKに沿って出来たEXPO会場は、今までの日本で開催された千里や筑波万博のように、丘陵を開発し人工土地の中で開催された条件とちがって、大阪中の島の周辺、大川の沿岸に位置すると想像していただいてもよいかと思ひます。カナダでの2つの万博会場には水が足えにあります。日本の万博は一見砂漠の中でやっているようなもの。人工の池や川をつくってみても所詮、大自然には勝ち目はありません。我国で土地の開発は小さい国土に、小間切れの造成や、幾百年も経てきた自然をブルトナーが削りまわす。……

● 環境という言葉を大切に仕出したプランニングの仕事もやっとその意味と価値を認めるころへ参りました。このバンクーバーEXPOを見て、自然と融合した人工地盤が、どれ程大切か? 先見性の高いプランを作ることがこれからの大きな課題です。「つかしん」の借景や一級河川との配置、四季折々の植生み画、寒暖を肌で感じる空間など、これらと

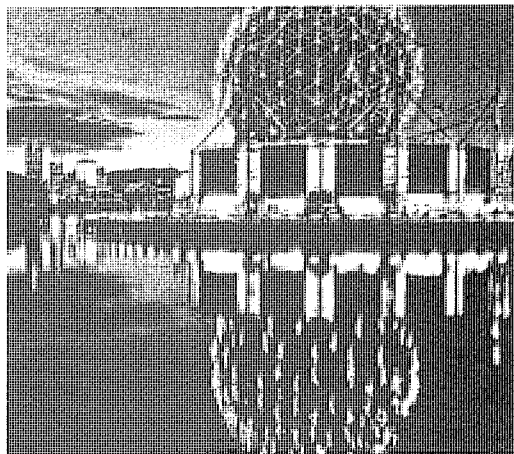
同じくEXPO '86も、過去のパビリオン内部ディスプレイを主たる展示スペースとする手法から、パビリオンの外部スペースをも大切に、展示空間とする企画に、その傾向が変りつつ、そこでは物理的条件として、各パビリオンをジョイントする空間機能を考へてその空間演出にパフォーマンスや、造形やカラーリング等を昼、夜と季節条件も加味してすべて計画されたように思ひます。

● これらの効果的な総合性は、今後益々商業施設開発にも採り入れられるべきで、その最も特長を持つ作例が同じカナダの「ウエスト・エンドモントン・モール」W・E・Mではないかと思ひます。この世界最大のSCは同時にレジャーランドでもあるのです。6大デパート、800以上の専門店が集積され、ディズニーランドとエプコットセンターと本来の物販飲食のSC、が集められたカナダ独自の自然環境の中で人々に受け入れられています。まさしくハイテクを駆使したその演出、プロデュースは、このEXPO '86と期を同じくして、何か私たちに迫って来ます。このような迫力はそのスケール感に加えて、個性豊かな造型とカラーによる徹底したデザイン手法がその成功を収めているのではないのでしょうか?

商業施設も基本的な考え方の低辺に、このような素地を持つ傾向となり、協会も「店舗設計」から「商環境」に変えた先見性はまちがってなかったと思ひます。

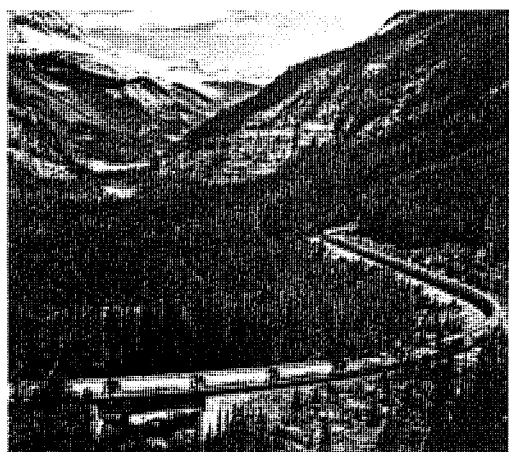
●我々は「空間」という言葉をよくつかっています。久し振りの快適充実空間を EXPO 会場で味わいました。日本全国、商業施設も多く点在する中で、その立地、用途、販売ターゲット等、企画設計の困難さは充分味わってきましたが、基本のコンセプト段階で 今や快適空間を持たないものは人間の集るスペースでもなくその方法として自然との対話、日本独特の四季を採り入れた空間設計が望まれます。樹木や水や土のみでなく、そこには光や風が流れます。人間の自然に対する思い合いが、坪庭にも表現されるように、大自然のカナダでは、一人当りの保有面積が大きく恵まれた国ではありますが、我国のきびしい条件の中で更に感性と自然が相乗するデザインを意識してゆくことが大切だと思います。

●今、旅行のスライドや写真からそのディテールを見返していますが、水辺に映ったパビリオン、ゾーンカラーもあざやかなモノレールの橋脚の間から見えるロッキ山脈の雪をいただいた山なみ、初夏の風になびくカラフルなバナー、屋外ステージで民族的サウンドやパフォーマンス、日本製電子楽器によるエレサウンドのミュージックステージ。お国料理の大レストランでビアパーティの盛り上がり、一歩パビリオンの中は、テーマ「交通と通信」人間のコミュニケーションを展開する、ハイテックディスプレイ、世界最大の映像ディスプレイ OMNIMAX やホログラフィ、ナショナルデーで活気付く各パビリオン、船を作



り、飛行機を会期中、手づくりで完成させる工房そのものが展示であったり、現在のハイウェイを考える哲学思想の展示など、充分、私たちを楽しませてくれる、最大の環境と思います。芸術あり、アミューズメントとアカデミック、そえらをハイテックなタッチでデザインされた EXPO 空間は、まさしく現在の人間同志のコミュニケーションスペースであります。

●このように 自然と対話し、ハイテックの中にもアートの世界が、環境の中に現われてこそ文化が生れて参ります。美しい自然を持つ日本であってもハイテックオンリーでは、人々は生きられません。人間同志のコミュニケーションとそこで生まれる喜怒哀楽の世界、環境文化の面からみて、今回の EXPO '86 はまさしく、喜びと楽しみの世界でもあります。各パビリオンを個店舗とみことき、これらが集積している環境の大切さは言うに及ばず集客性、テーマ性から基本条件の一つです。EXPO '86 は 自然と芸術とハイテックの中から生れた 計画思想が根底にあり、交通と通信 即ち、コミュニケーションエイジの時代を代表する環境文化の結果だと思っています。短い初夏の会場をあとにし、大陸横断鉄道で 17 時間かけてロッキー山脈の雄大な自然と対話する旅に出発しました。森と山と氷河、光と空と雲の中のアメリカ大陸は、私にとって今年の贅沢の一つです。

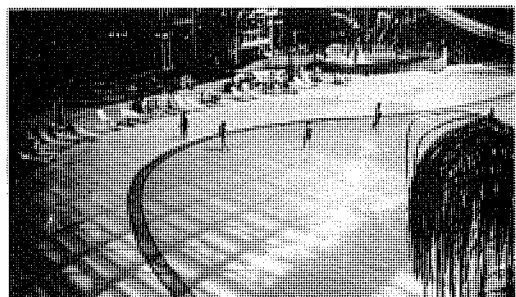
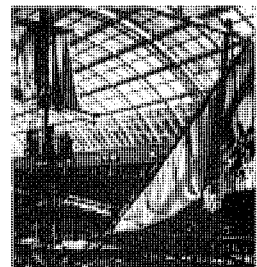
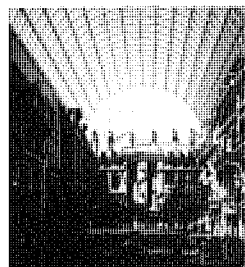
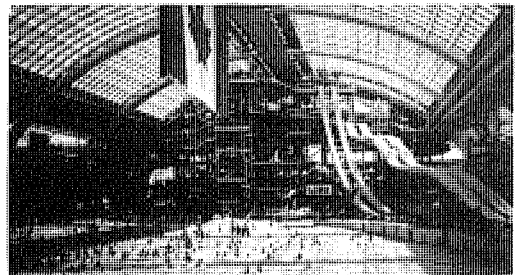


## ウエスト・エドモントン・モール

蔭山利夫

世界最大のショッピングセンターであるカナダ、アルバータ州の「ウエスト・エドモントンモール」を視察したのは木、金曜日であったが、幸いウィークデーは午前10時から午後9時までの長時間営業の為、(土、日は午後6時まで)2日の旅程の中でも、広大な敷地面積であったが充分見学出来た。このSCは1981年から着工したもので、現在は、ファンタジーランド、ホテルも併設され、日本では考えられないほどの規模を誇り、床面積48万平方メートルの建築施設の中に、13の大型店、817の専門店、飲食店の他、ファンタジーランド、動物園、アイスパレス、ウォーターパーク、海底アドベンチャースペース、ミニパターゴルフ場、劇場などの施設があり、それぞれが余裕のある広い面積を有している。ヨーロッパ、ファッショもパリ感覚のアトリウム演出、飲食系ではニューオルリンズのバーボンストリートを模した展開、その他グルメワールド、グルメコートと飲食スペースのウエートが高い。特にウォーターパークは施設内で最大の面積をもち、造波装置で海浜の演出、数本のウォータースライダー、チューブスライダー、バレーコートと巨大なグラスドームを形成している。FUN&Fash: or Centevと名打つだけあって、遊びとファッショが大きなポイントになっており、印象としては、従来のSCにディズニーランドをミックスし、全天候型のモール全体をトロピカルなリゾート感性、噴水を多用した、ショッピング、アミューズメント施設である。アルバータ州の州都とはいえ、人口77万のエドモントン市のエリアから考えれば望外とも思える施設だが、SC施設と見るより観光センターとしての解釈の方が正解だろう。周辺の既設ショッピングセンターは閉鎖に到っているらしい。都心からタクシーで16ドルの立地だが、1日約2万、年間の訪問者数は800万人といわれているから、州外からの客

導入も相等数に達しているのであろう。モールの客層、様子を見ても、ショッピングバッグを持たない人達が多い。施設建物は2層の形式で、グラスドームの開放感のある空間づくり、平面型には新しい要素はないが、コンピューターのインフォメーション設備、館内が広いので電気自動車の貸し出しもあり、その他のサービス施設も良くまとめられている。総投資が1350億と聞くが、敷地面積からみても、通常のゴルフ場面積の1/2を容しているわけで、日本では行政レベルの優遇措置がないかぎり可能性の薄い施設でもある。エドモントンの後、トロント、ニューヨークとかけ足の旅行であったが、両都市ともウォーターフロント開発に見るべきものがあつたし、三都市とも含めて商業施設等の中で感じたものは、エンターティメント路線の深耕というか、「遊」意識の豊かさが、今後の商業施設のテーマでもあり、「商」の切口からどうティク、オフさすかにあるとも思えた。





## ビデオ・ワーク

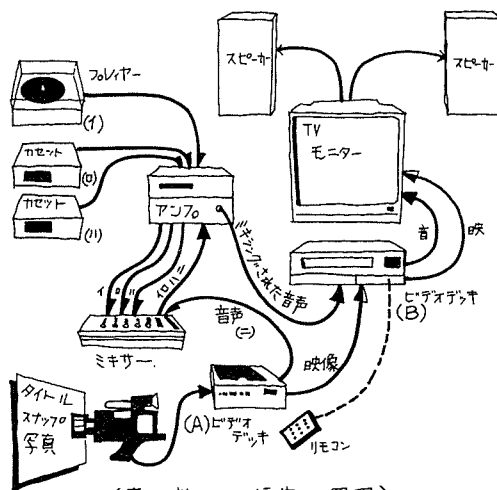
老田徳廣

一つの仕事の合間に、次のプランを頭で進めその途中現場監理指示をし、又事務所内の話題にも耳を傾ける。終業前になると帰宅後の時間割りを行うといった様な調子の毎日で、コマ切れに時間をうまく使わないと満足出来ない自分で有るからして夜中にゆっくり楽しめるビデオ収録・編集が私に最適な趣味で有る。昭和47年に長女の誕生を見て8ミリ映画撮影で記録を始め以来15年間途中ビデオに変わったが撮影を続けている。現在ビデオテープ210本収録済みのテープが有り全て3倍速で収録して居るので、レンタルのムービーダビングが80本だから映画は、本数にして240本に成る。

事務所に1台と、家庭に3台のビデオデッキが有りTV番組に朝目を通し、教養・ドキュメント・趣味・等に記しを入れ妻に収録をたのみ仕事に出る。テレビ番組の中で、今年から毎週収録している中で「女ひとり旅」では、各地の温泉・ホテル・料理・地場産業・特産物・祭り・と言った様に多くの情報が含まれており一つの番組を紹介別に分けて編集すると、便利に活用出来る。家族の記録なども写真と音楽を入れて編集するととても楽しく、アフレコで普段隠して録音して置いた会話等を全然関係の無い場面に挿入するのも面白い音声の無い8ミリフィルムをビデオにダビングし次女澄美2才半の時なにげなしに録音していた会話「お父さん男でしょ○○○さがつ

てんやろ」のテープが見つかり当時の画面に入れた記録映画が一番人気がある。

他には、JCDデザイン会議の収録や、講演会（西脇先生や赤松先生の講演もある）それに加入団体の記録、又現場監理の収録など仕事に直接関係した撮影も行っている8ミリフィルムと比べるとビデオの画質は、かなり落ちるがダビング回数を減らせばまずまず見れる。そこで皆さんに、一回のダビングで編集しながらタイトルバックミュージック挿入が一人で出来る方法を図で説明して、私の話しを終わります。



(老田式 - 100% 編集配置図)

$$S = 1 / \text{イイヤン}$$

※不用な画面のカットは (B) デッキの録面とカセットテープの再生を同時にストップさせる (一時停止) そうすると (A) デッキの再生モニターは見れるので不用部分がすぎれば (B) とテープの一時停止を解除すれば画面と音声のズレ無く編集出来る。

## OPT COMMUNICATION

### 光の新しい表現

光で遊ぶ、光を楽しむ。  
多様化するインテリアスペースに新しい提案。  
光のマテリアルを光学的にビジュアル化、  
照明の可能性をより広げます。

2つの  
ニュー  
コン  
セプ  
ト

## METALIA.

### 新・装飾時代

輝きが街を彩る。  
面期的なコーティング技術が  
新しい建築素材を誕生させました。  
シルバー・ゴールドタイプのメタリアタイル。  
様々な可能性を都市空間に。



本社・〒577 東大阪市衣摺5-18-1 TEL 06(727)3200(代)  
大阪支店・〒540 大阪市東区内久宝寺町2-21 TEL 06(768)7011(代)

## クロス・ポイント

インテリア・デザイン・オフィス・nob

吉尾浩次

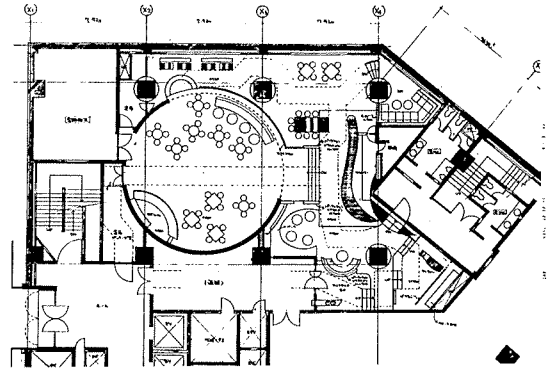
最近、住宅やビルなど建物の設計が多くなり、店舗やインテリア・デザインを少しは客観性をもって見られるようになった。

今までは与えられたハコの中を造りすぎるくらいがあったことが、大きな反省点である。今回それをふまえて設計したクラブハウス「クロスポイント」は、会員へのサービスとコミュニケーションを目的とした遊空間である。ポイントをはずさないで、いかに単純明解にダイナミックに表現するかが課題であった。(写真参照)

建築家がディスコやインテリアデザインに、

興味を示し、取組んでおられる昨今、我々も終局は内から外へ派生した建築を目指して、大いに情熱を燃やし頑張るべきである!

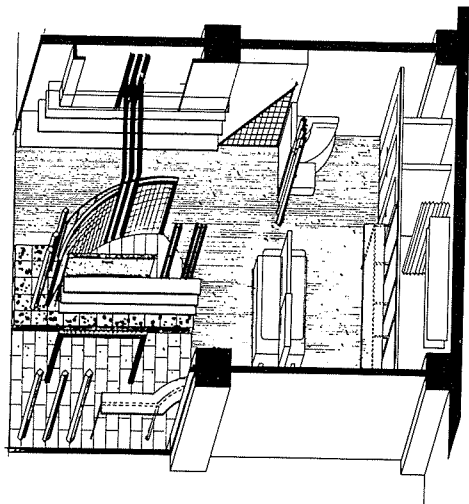
自分に云いきかせてます。



## エスカイヤ

亀井設計室 亀井克二

ジャスコが新しいコンセプトで市場開拓を狙う茨木新店の2Fに出店している品揃え型のファッション店です。

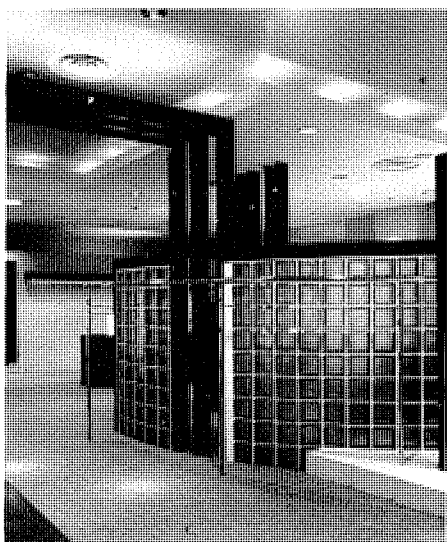


私は、最近の作品の数点にソフトな和風感覚を取り入れています。

印刷は白黒ですので色がわからないのですが朱の鳥居と光障子を、コンセプトを表現するメインテーマとして造型の中に組み込みました。割合、それが品揃え型に対するDC系のデザインにも負けないソフトな個性表現となりました。

売り場としては、ゆったりした空間構成で、量感はあるでも在庫が少なくて済む様配慮しました。

レジ及び接客カウンターをガラス壁の後ろ、平面的には、スペースの中央に配置したのが動きの良い空間を作っている様です。



## BRIGADON

設計 デザインスタジオ(株) FASCO 藤谷 明正  
施工 (株)インテリアシマオカ

神戸のニットメーカーのショールームです。北野の事務所兼ショールームから三宮の中心街に近いマンションの一階に新しくショールームを設けました。商品はベーシックでフェミニンな感覚が中心で、ヤングからアダルトまで幅広い年齢層をねらっている。設計にあたりファサード中央に半円柱を配し、造形の中心、又ファサードの印象を強調しました。仕上げはパールとも見えるベージュのメタリック塗装とし柔らかみ、やさしさを表現。内部は毎月開かれる展示会のため、ゾーニングを明確にするため床材を貼り分け、フロアーのアクセントとしました。



## 世界のインテリア材・エクステリア材 設備機器材を一堂に展示

(株)エービーシー商会 ショールーム

床、壁、天井、などの仕上げ材をトータルで見せてくれるのがABC商会 ショールーム。国内はもとより広く世界各国から集められた製品がズラリ並んでいる。このショールームの特長は1コの素材に対して、色・種類とも多彩な製品が揃っていること。例えば、床材なら塩ビ系、無機系、合成樹脂系、ノンスリップ床材、電導床、カーペットなどがあり、それぞれがさらに豊富な色、デザインで構成されている。

仕上げ材は、大きな要素を占めるだけに、実際に見て素材感を確かめたいものだ。なお、当ショールームは、7/19～9/20日までサマーカーンペーンを実施。

即売会やフルオートカメラ(オリンパス、ピカソ)などが当たる抽選も準備されているので、この機会に訪れてみてはいかがだろう。

(株)ABC商会 東京ショールーム  
東京都千代田区永田町2-12-14

☎ 03-507-7117

営業時間 AM 10:00～PM 5:00

日曜・祭日もオープン

但し、8月 15.16.17のみ

休館

(株)ABC商会 名古屋ショールーム

名古屋市中区栄4-3-26 昭栄ビル 1F

☎ 052-263-1455

営業時間 AM 9:00～PM 5:00

日曜・祭日 休館

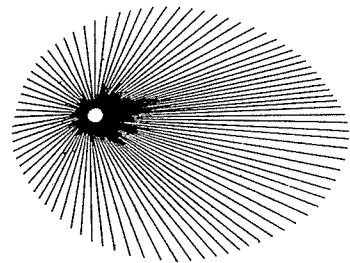
(株)ABC商会 大阪ショールーム

大阪市東区京橋1-7 OMMビル 8F

☎ 06-943-2839

営業時間 AM 9:00～PM 5:00

日曜・祭日 休館



素材の質が語る、  
空間創造

**イノベーション**  
INNOVATION+RENOVATION  
プラスイノベーション

ABC商会は、いま、数々の商品でイノベーションを、  
そしてまた増・改築、改装のシステムで  
リノベーションを皆さまにご提案いたします。

**ABC商会のショールームへどうぞ**

アームストロング、ユーロセラム、コーラーをはじめ、世界の超一流品だけを一堂に集めたABC商会のショールーム。住宅・店舗・ビル・工場等の増・改装の前にぜひ……。

(株) **ABC** 商 会

大阪北営業所 大阪市淀川区西中島四丁目2番9号

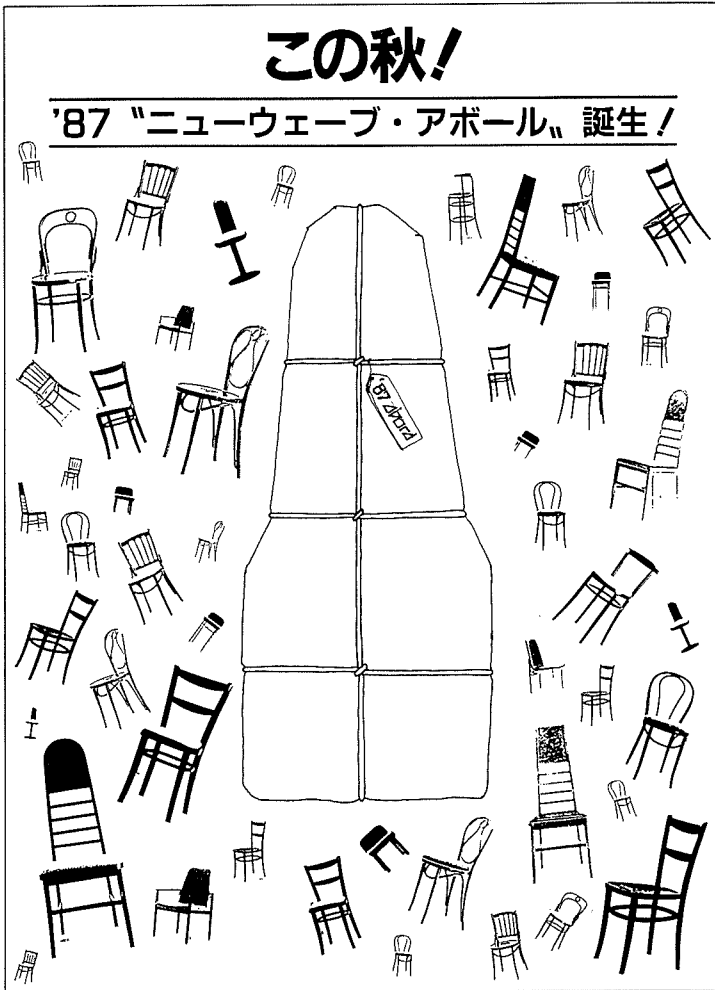
TEL 06(305)2727 〒532

大阪南営業所 大阪市東区京橋一丁目7番地 OMMビル8F

〒540 TEL 06(943)2831

## 超美人伝説

木下家具



家族連れでにぎわうレストラン。若者の明るい笑い声が聞こえるカフェバー。ナイスミドルがグラスを傾けるホテルのラウンジ。店舗にはさまざまな顔がある。「その顔“超美人”に！」店づくりに携わる者の絶対的な願望である。その為に彼らはいろいろと化粧を施す。クロス、照明、ディスプレイと次々に化粧品を揃え、最後に椅子、テーブルこそ、この化粧のフィニッシュとなる最も重要なファクターといえる。

オリジナル商品“abord”をはじめ、国内外の一流ブランド商品、更には別注家具。キノシタはあらゆる形態の椅子、テーブルをとり揃え、“超美人”の誕生に胸をときめかせている。



### 株式会社キノシタ

本社ショールーム 〒556 大阪市浪速区日本橋4丁目9-22 TEL 06(644)5541(代)  
 東京営業所 〒116 東京都荒川区東尾久4-52-9 木全ビル1F TEL 03(810)4600  
 配送センター 〒556 大阪市浪速区塩草3-5-6 TEL 06(562)6613

# 委員会メッセージ

## 委員会だより

月日 時間 場所  
 組織委員会 ○5月16日(金) 6:00～7:15 JCDルーム

出席者 要、馬田、柴田、南原、白井、池島、野井、桜井、藤谷、市川、猪多

オブザーバー 大菅支部長

- 理事会報告 ●ビアパーティーの件
- 62年度総会の件

○6月27日(金) 6:30～ JCDルーム

出席者 要、馬田、里吉、池島、南原、野井、岡

オブザーバー 大菅支部長

○7月23日(水) 臨時委員会

情報委員会 ○7月7日(月) 6:30～8:00 JCDルーム

出席者 太田、蔭山、赤松、大田(貞)、大菅支部長

- 大菅支部長より組織委員会からの連絡情報
- 1. 大阪総会(62.1)会場
- 2. ビアパーティー(61.8)推進の件
- 情報委員会 機関誌 JCD-KANSAI 第9号の編集

研究開発委員会 なし

## 第53回 JCDゴルフコンペ

日時 昭和61年7月18日(金)  
 AM 10:06 スタート(東コースイン)  
 場所 有馬ロイヤルカントリー倶楽部  
 競技方法 18ホール ストロークプレイ  
 賞品 優勝・2位・3位・BB・参加賞  
 ニアピン(4ホール)・ドラゴン(2ホール)  
 会費 例会費 5,000円  
 年会費 5,000円(初参加者のみ)

## 組み合わせ

1		熊本順一	奥村丑松	売間克也
2	赤松良一	福本正明	吉岡英雄	大田 貞
3	植沢俊一	山本正考	片岡正範	
4	高田博充	藤永 肇	山川善久	

## 競馬枠順

	選手	HC	会社名	西	東	GROSS	NET	位	次HC
1	吉田三郎 大田 貞	18 22	㈱船場 ㈱布谷	— —	— 47	— —	— —	— —	
2	赤松良一 山本正考	20 28	㈱赤松店舗研究所 マックス電機㈱	56 55	53 57	109 112	89 84	8 6	
3	植沢俊一 福本正明	24 22	㈱Nowデザインハウス ㈱アトリエ福本	50 48	46 51	96 99	72 77	1 3	19 20
4	奥村丑松 藤永 肇	16 36	㈱若い街	46 —	48 68	94 —	78 —	4 —	
5	熊本順一 売間克也	16 25	㈱インテリア ジュン ㈱遠藤照明	47 56	47 57	94 118	78 88	5 7	
6	高田博充 片岡正範	17 15	第一建設工業㈱ 大光建設㈱	58 41	56 50	114 91	97 76	DB 2	18
7	吉岡英雄 山川善久	28 22	㈱ローナ工芸 小泉産業㈱	58 55	65 65	123 120	95 98	9 11	

優勝 植沢俊一 ドラゴン 藤永・片岡  
 2位 片岡正範 ニアピン 熊本・熊本・熊本・片岡  
 3位 福本正明



今回は久しぶりに17名もの参加葉書が集まり喜んでおりましたが、前日のキャンセルと当日の遅刻者というハプニングでこれまた久しぶりに走り廻ったコンペでした。このところ会員の方々のご協力で初参加の方が増え、レベルが上がったとか下がったとか、賑やかなコンペになっています。今年、後2回の幹事役となりましたが、賞品その他アイデアをとり入れて多数ご参加いただけるよう頑張ります。(幹事:大田貞・売間克也)

## 編集後記

名僧白隠禅師は、5～6才の幼心に無常を感じ母に無常の何たるかをたづねたところ、母親は空ゆく雲を指さして「あのように世の中すべてがうつろうものだ」と教えたとか、それではかわらぬものは何か、さらに母親は「すべてのものが無常であるということだけが変わらない」けだし名言である。

万物は流転する、変わるものを利用して世の中を渡っていくか、少しでも長く続くもの、不動のものを探して生きてゆくか、面白い世の中ではある。

原田

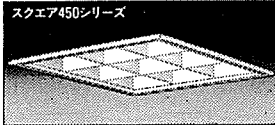
1986年、 **七かり照明器具** は  **KOIZUMI** に変わります。



小泉産業株式会社

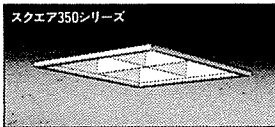
本社 〒541 大阪市東区備後町4丁目43 TEL.06-262-1751(代) / 照明事業本部 〒541 大阪市東区備後町3丁目 長谷ビル3F TEL.06-262-0861

パナソニック  
1500シリーズ  
36Wツイン蛍光灯3灯  
NF33700  
GH360000



スクエア450シリーズ

パナソニック  
1500シリーズ  
28Wツイン蛍光灯2灯  
NF22720  
GL334000

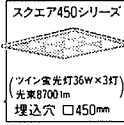


スクエア350シリーズ

店舗用照明器具

## スクエア450・350シリーズ

(ツイン蛍光灯採用)



スクエア450シリーズ  
(ツイン蛍光灯36W×3灯)  
光束9700lm  
埋込穴 □450mm



従来品  
(FLR40W×3灯 光束9000lm)  
埋込穴 445×1260mm

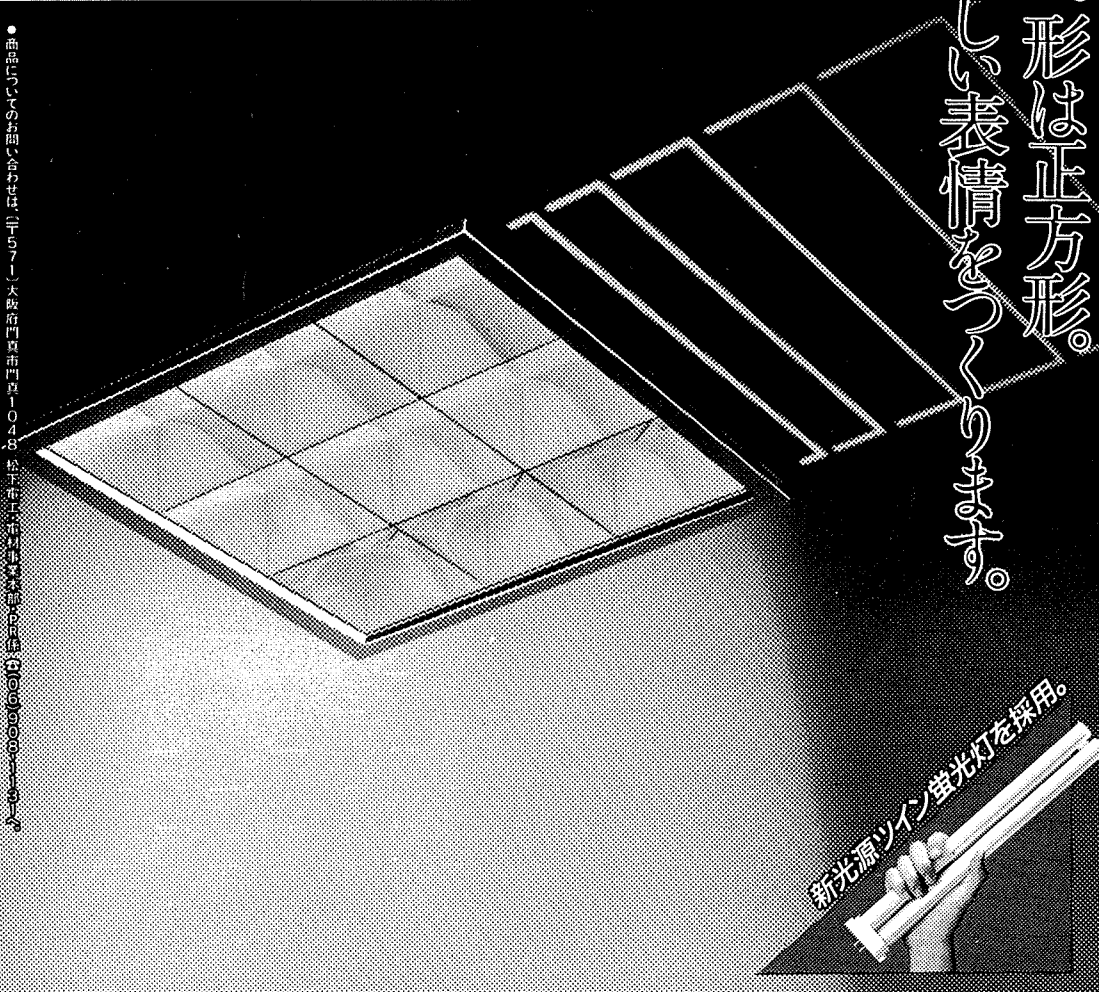
●ツイン蛍光灯28W×2灯の350シリーズもあります。蛍光灯ダウンライトとして店舗のペー  
ス照明にお勧めします。

コンパクトでハイパワー、演色性に  
すぐれた新しい光源のツイン蛍光  
灯を使ったスクエアシリーズの  
誕生です。写真の450シリーズ  
(ツイン蛍光灯36W×3灯)は、  
40W直管蛍光灯3灯用とほぼ  
同光束で、器具サイズは約1/3  
(当社従来品比)。正方形ですから  
店舗空間に方向性をとらず、  
スッキリとした構成が可能です。

器具サイズ1/3。  
店舗空間に新

しい表情をつくり出します。  
形は正方形。

●商品についてのお問い合わせは ☎571-大政府門前市門前1048 松下電工株式会社 照明部 050-3636-3636



新光源ツイン蛍光灯を採用。